

げいび清流米 ご活用の皆様へ

年間定期購入ありがとうございました。新米 収穫感謝！

げいび清流米を引き続きご購入頂きましてありがとうございました。心より感謝申し上げます。岩手の里山も上の方から少しずつ色づいて、朝晩の冷え込みも身に染みる季節になってきました。日毎に日も短くかなり、晴れ間を見ては秋の採り入れに慌ただしい日々を送っています。



冷害か さて、今年の稲刈りは昨年より5日遅れの9月25日から始めました。近年では最も遅い稲刈りのスタートです。何分東北地方太平洋側は8月の天候が極端に悪く、日照時間も記録的な短さとなりました。そのため7月の好天で早めに出た稲穂も全く登熟（とうじゅく）せず、お盆を過ぎてても垂れる気配すらありませんでした。日に日に稲の生気は失われ、軟弱になって行く稲は病気も発生し出す始末です。全く為す術無く、只見守るしかない無力感の中で「冷害」の二文字が頭を過ぎる日々が続きました。9月に入り掌を返したように天候が回復、土壇場でどうにか稲も生気を取り戻しましたが、完全に遅れを取り戻すまでには到らず、最悪3割の減収、何とか2割以内の減収に収まればと願ひ、ぎりぎりまで稲刈りを伸ばした次第です。しかし稲刈りが始まるや雨続き。なかなか天候が安定しません。秋雨前線が行ったり来たり繰り返す。稲刈りはコンバインという大型の収穫機械を田んぼに入れるため、地面がぬかるんでいると思うように刈り取りが出来ず、最悪の場合機械が泥に埋まって動きが取れなくなります。今年もスマートホンで雨雲の動きをチェックしながら悪戦苦闘の稲刈りがつづきました。

作況指数 100? さて、今年の作柄ですが、国が発表する作況指数平年作を100とした場合100。平年作というものでした。現場からすればえっ、と言う感じです。何らかの意図が働いているとしか思えない数字です。確かに刈り進めて行くにつれ収穫の手応えは感じていました。当初は2割の減収は覚悟していたのですが、意外にも1割弱ぐらいの減収に収まりそうな気配ですが、それでも平年からすれば作況93位が良いところでしょう。何だかんだと悪戦苦闘しながらも18日に全ての稲刈りを終了しました。遠くから雪の便りも聞こえてきます。相変わらず天候に振り回された一年でしたが、どうぞ今年の新米をご賞味下さい。

新米感謝価格 今月は新米感謝価格と銘打って、定期購入を頂いた皆様へは200円/5kgの値引を行っております。生産者にとっては、かつてない低米価の時代に、皆様とのお付き合いは大変大きな励みになります。本当にどうもありがとうございました。



エゴマの刈り入れ

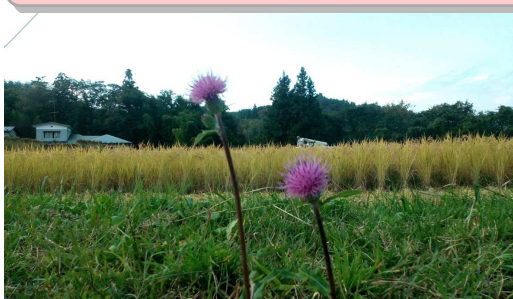
「まちむら交流」に参加します。 10月27日～29日 東京都品川区武蔵小山商店街（パルム）にて物産展に参加します。このイベントは「まちとむら」の交流と言うことで27年目を迎えます。この物産展を通じわが家のお米を購入されるようになった方も少なくありません。そうした方々とお会いできることを楽しみにしています。是非お時間のある方は覗いてみてください。

年間定期購入者「まごどさ」プレゼント 定期購入の感謝の意も込めて、「まごどさ」（菜種油）をお入れしました。この油の原料は地元産の菜種を使用しています。地元の油工房にて薪釜焙煎圧搾という昔ながらの製法で搾られたものです。市販の工業的に搾られた油と違い、酸化しにくく健康を害するトランス脂肪酸が含まれていません。安心して使える油です。



新米を贈りませんか

日頃お世話になっているあの方に「げいび清流米」を贈られては如何でしょうか。今なら特別感謝価格（定期購入者限定）2,700円/5kg → 2,500円/5kg（送料別）にてお届け致します。お申込は専用ハガキ（切手不要）若しくは振込用紙通信欄に相手方住所、氏名、電話番号、数量を明記の上お申し込み下さい。



畔に咲くアザミ

お問い合わせ先

〒029-0301 岩手県一関市東山町田河津字田の萱 58
フリーダイヤル 0120-81-4153
FAX 0191-47-2769
Eメール okome@81-4153.com



<http://www.facebook.com/soji.sato>

生産者ブログ「山間のたんぼ」<http://81-4153.seesaa.net/>
合同会社 田舎モノ 代表社員 佐藤 想司

※日中は農作業のため留守電が対応します。ご用件をお話頂き、不明な場合はこちらよりご連絡いたします。